

会議議事録

会議名	令和2年度 第1回教育課程編成委員会
開催日時	令和2年6月16日(火) 14:00~15:00
会場	中央動物専門学校 301教室
参加者	<p>委員 坂本 敏、佐藤 洋子、渡来 純如、小澤 琢爾、齋藤 栄輝、 對馬由希子、笹井 利浩、高橋 三行、榎本 修 (欠席:溝口 健太)</p> <p>陪席者 関野 格至、原 太一、佐久間恵子</p> <p style="text-align: right;">以上 12名</p>
会議録	<p>1. 開会挨拶 座長の坂本敏校長から開会の挨拶を行い、教育課程編成委員会が開会した。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症等への対策・対応(概要)説明 坂本校長から新型コロナウイルス感染症等への本校の対策・対応状況(概要)について説明があった。(配布資料参照)</p> <p>3. 職業実践専門課程 認定状況説明 坂本校長から「職業実践専門課程」の認定状況について説明があった。 ・専門学校(専修学校専門課程)における「職業実践専門課程」の認定等(令和元年度)について(配布資料参照)</p> <p>4. 運営報告・運営計画について 坂本校長と佐藤洋子委員から令和元年度運営報告及び令和2年度運営計画の説明があった。</p> <p>(1) 令和元年度運営報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営 ・教学運営 ・動物管理運営 ・施設・設備の改善・整備 ・広報活動の基本方針と成果等 <p>(2) 令和2年度運営計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建学の目的と教育方針 ・運営方針及び運営重点項目

- ・教育指導内容及び教育運営の充実
- ・教育設備機器等の整備
- ・就職指導体制
- ・広報計画等

6. 具体的検討

今回は、コロナ禍に対する各業界の対応状況の紹介含め、令和元年度運営報告や各学科の教育運営に対して必要な検討を行い、今後更に改善を要する案件や意見が挙げられた。主なものは次の通り。

(1) 愛犬美容関連科（愛犬美容科・愛犬美容研究科）

- ・美容、ペット業界に関しては、今回のコロナウイルス感染症の影響で、店舗では休業や営業時間の短縮等、厳しい状況の中、来店客数に大きな変動はなかったが、来店周期のずらしは見られた。コロナ感染症については店舗で告知はしていたが、ソーシャルディスタンスの捉え方が個々により違うため、不意に来店されるお客様もいた。接客をありきとした美容の対応部分に関しては、スタッフを守るため、様々な対策を取りながら運営をしていた。
- ・トリミングの来店周期が延びたことにより、自宅でのケアについて要望するお客様が多く見られたため、会社側で自宅ケアの動画を作成、配信し、お客様へ閲覧を促した。
- ・コロナの影響でペットホテルの売り上げは皆無に近い状況であった。
- ・スタッフ教育に関しては、密になるスタイルを回避する対策として、ZOOMを利用したのオンライン遠隔セミナーを週一回開催している。
- ・コロナによる自粛の影響か、生体の売れ行きが好調。ブリーダーが生体価格を上げてきていることにより、店頭価格も高騰してきている。
- ・ペットの需要が増加しているため、それに付随して、トレーニング、グルーミングケア、動物病院の供給、ライフスタイル等をどのような形で店舗側が提供できるかが今後の方向性となってくる。
- ・コロナ禍の中、来店者数は通常と変わらず、ソーシャルディスタンスを保つことが難しかった。
- ・コロナの影響で在宅が多い事から、ペット業界は市場が伸びてきている。
- ・コロナにより新人教育に遅れが生じている。状況が落ち着いてから力を入れていきたい。

(2) 動物看護関連科（動物看護科・動物看護研究科）

- ・動物病院としては、コロナ騒動が起こる前と比べて業務が縮小していることなどはないが、病院側の方で衛生面において、様々な対応、対

策をとっている。

- ・コロナの関係で人工呼吸器を人間の病院の方に貸出できないかという問い合わせがあり、ある程度の確保をしている状況。
 - ・動物看護師が不足している中、本校の動物看護系入学者が増加していることに、期待感を高めている。
 - ・動物看護系の2年制募集を停止し、3年制のみの募集としたことについては、引き続き2年制の学生のケアも確実に行っていただきたい。
⇒今後も強い使命感を持って、教育指導をしていく。
 - ・動物病院では診察予約システムを開始した。導入当初は売上減も懸念されていたが、実際の売上は順調に推移している。また、近日中にはネット予約も開始する。
 - ・今後は動物病院の待合室を区切り、お客様同士が顔を合わせずに済むような対策をしていく。
- (3) 動物共生関連科 (動物共生研究科・動物共生総合科)
- ・建設関連会社に、昨年本校の動物共生研究科を卒業した社員がいるが、改修工事の図面作成、積算等、大学の建築学部卒業の同期社員と肩を並べてほぼ変わりなく業務をこなしている。共生系の教育方針が建設会社でも通用するということが実証されている。今後も引き続き共生系の教育に力を入れて、良い人材を輩出してほしい。
 - ・特養においては、新型コロナ感染症の対策は万全に行い、利用者家族の面会については自粛の要請をしていた。現在は東京都の基準に合わせて少人数短時間での面会を再開したところであり、学生の介在実習の受け入れや求人活動については、すべて中止にせざるを得ない状況であった。犬を連れての介在実習を心待ちにしている入居者もあり、社会的状況を鑑みて受け入れを再開したい。
⇒前期中に1～2回、嚴重な感染対策を考慮した上で、介在実習を行いたい。
⇒専門分野のみならず、建築および福祉等、広範囲に総合的に学べる学科として、今後も継続して教育していきたい。
- (4) 各学科共通
- ・偏差値教育ではなく、答えのない時代を迎えている今、動物病院のスタッフには積極的に考えさせ、発言させ、行動させている。教育サイドでも答えのない課題を出し、学生に問いかけてみるような授業を検討してもらいたい。今後はそれに対応できる人材でないと生き残れない。
⇒アクティブラーニング導入含め、学生が自ら考えて創生するような授業、創意工夫力の向上が図れるような授業を検討していきたい。

7. 次回委員会開催連絡

次回の委員会を、令和3年1月19日（火）14:00～16:00とする。詳細は後日連絡。

8. 閉会

座長の坂本敏校長から閉会の挨拶があり、教育課程編成委員会が閉会した。

【配布資料】

- ・教育課程編成委員会 令和2年度第1回委員会 議事次第
- ・令和元年度運営報告
- ・令和2年度運営計画
- ・学則（平成31年4月～）
- ・学習の手引き（履修便覧）2020年度
- ・教師・保護者用ガイドブック2021
- ・学校案内書2021
- ・職業実践専門課程関連資料
- ・新型コロナウイルス感染症等への対策・対応（概要）

以上